

板橋ふれあい農園会給食だより



12月 にんじん

板橋ふれあい農園会とは、板橋区で農産物を作っている区内農家の方の会です。学校に新鮮で安全な野菜を届けてくださいます。今回のにんじんは、山口賢治さん、春日喜一さん、染宮利章さん、木村繁夫さん、田中耕太郎さん、山口駿太さん、田中將浩さんを中心に作っていただきました。

◆◆◆ にんじんができるまで ◆◆◆

1 耕うん(8月)

にんじんの根が育つ方向に、土の塊や石などのかたいものがあると根が分かれてしまいます。

それを防ぐために、機械で土をやわらかくし、石などを取り除きます。



種をまく機械

2 種まき(8月下旬～9月上旬)

約10cm間隔で、1つの穴に3粒ずつ、種をまきます。

にんじんの発芽には水分が必要なので、発芽するまでは毎日、朝と夕方の2回、たっぷりと水やりをします。



3 発芽

(種まきから7～10日後)



4 間引き(10月上旬)

3粒種をまいたうち、丈夫な芽を1つ選んで、他の芽を抜きます。これを「間引き」といいます。

5 土寄せ(10月中旬)

根元が土より上に出ないように、土を寄せかけます。これを「土寄せ」といいます。土寄せにより、日光に当たって根の水分が抜けて固くなったり、色が変わったりすることを防ぎます。

6 収穫(12月)(種まきから約100日後)

毎日雑草を抜いたり、虫がついていないか確認したりしながら育てます。収穫の頃には、根の先まで含めると、長さ約25cmまで成長します。



板橋区食育キャラクター
いたばちい



今年の品種は、「向陽2号」「愛紅」
「紅あかね」「初あかね」だっちい！